



Merry Christmas!

時は満ちた！

マルコ1章15節

人類史上、神の一人子、イエス・キリストだけが自分がいつ、どこで生まれるかを選ぶことができるお方でありました。そのイエス様がお生まれになる場所として神様が選ばれた土地は現在のイスラエルがある場所でした。世界地図を見れば一目瞭然、そこはヨーロッパ、アジア、アフリカ大陸が重なり合う場所で、神様はまさしく世界の中心となる土地をイエス・キリストの誕生の地として選びました。

さらに神はその時を今から約2000年前としました。その時代はローマ帝国が世界統一を成し遂げた時であり、それゆえに国境による閉鎖が取り除かれて、帝国の力により治安が保持され、物資や音信が自由に行き来することができる時代でありました。この好条件のもと、イエス様の弟子達やパウロは福音を世界各地に広めるために奔走しました（誰もそんなことを考えてはいませんでした、ローマ帝国はこのために公共設備を整えていたのです）。

その時のイスラエル国内は華やかさの陰に不安と動揺が渦巻き、ヘロデ王の野蛮な放縦と乱行、市民税、宗教税の二重苦、生活は労苦に満ち、かたちだけの律法がまかり通り、偽善がはびこっていました。さらにはユダヤ社会を支配していたローマ皇帝カイザルは神性を有する者とされ、皇帝崇拝が行われていました。そのような混乱に満ちた闇の時代にイエス様は誕生され、闇の中に輝く光が世界を照らしました。まさしく後にも先にも、その時以外にはないという時を神様は私達のために選ばれたのです。まさしくイエス・キリストの誕生は聖書がいうように時が満ちて起きたことなのです。

私達の人生にも「時」と「場所」があります。これらのめぐりあわせの意味を大抵、私達はその時には知りませんが、後になりますと一つ一つの点が線となるのが分かる時があります。過去の点が今日という点に結びついて、そこに神様の恵みとあわれみで満ちた一つの線を見い出すことができるようなクリスマスとなりますように！そして、神様は私達には理解できない今日の点を、後には一つの線としてくださることを信じることができますように！

私たちの教会では年末年始に以下の礼拝やイベントを計画しています。

ご家族、ご友人と共にお越しください。

12月20日(水)	キャンドルライトサービス	7:00pm-
12月24日(日)	クリスマス礼拝(バイリンガル礼拝)	9:00am-
12月31日(日)	年末感謝礼拝(バイリンガル礼拝)	9:00am- うどん・そばランチ
1月 7日(日)	日英合同新年礼拝	10:00am-

日本語部牧師:大倉 信